



日野・百草山の緑と自然を守り活用する活動(その3)

実施状況	助成区分	植樹	環境保全	調査・研究	教育・啓蒙
保全・環境整備 (今年度の実施目標) 100%	百草山観察会 (今年度目標:2回以上)	100%	活動の全体目標に対する達成度		75%

活動目的

社会問題として、世代を超えた継続的な自然環境保全が求められています。
また、地域課題として、東京近郊、百草園駅に近い日野・百草山が活用されないまま残されています。

活動内容

- ①保全活動の実施
 - ・日野の自然(百草山)を良好な状態に維持すべく保全活動を継続して実施する。(活動日:2回/月)
- ②百草山を「郷土の自然の大切さを認識」する場とするための環境整備
 - ・作業者および関係者が安全に利用できるように擬木階段の設置(昨年度:50%完→今年度75%)
- ③百草山の自然を理解してもらうための資料の収集と整理
 - ・百草山の自然の状況を調査・整理してまとめる。(百草山の四季(野鳥編)の作成)
- ④市民が参加できるイベントの企画
 - ・市民が日野市の自然を体感できるイベントを開催する。(百草山観察会を開催→2回以上目標)

成果

- ◆ 月2回の保全活動を実施し、日野・百草山の自然を良好な状態に保つことができた。
- ◆ 擬木階段の設置75%程度完了。
- ◆ 百草山の自然の状況を調査・整理し「百草山の四季(野鳥編)」の冊子を発行することが出来た。
- ◆ 百草山昆虫観察会、百草山自然観察会等を開催、市民参加の場として有効活用できた。



擬木階段の設置



自然観察会



昆虫観察会



百草山の四季(野鳥編)

工夫した点

団塊世代会員が培ってきた経験や知識、人のつながりを活用した活動を推進する。
・理科の先生、建築士、コピーライター等の専門知識を生かして保全・環境整備の実施や自然調査冊子を作成した。
・百草山の自然の材料をベースに会員の経験を生かして昔ながらの物の作成や遊びで楽しんでもらう工夫をした。

今後の課題

貴ファンドの助成もあり環境整備等、全体の75%程度達成できましたが、まだ市民が安全に安心して活動に参加するにはもう少しかかりそうです。本活動の目的を達成するためには継続した活動が必要です。環境整備等を2~3年程度かけて完成する予定です。本活動をさらに前進させるために継続した支援が必要です。